



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取組み～

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社
取締役社長(グループCEO)

櫻田 謙悟

SOMPOホールディングスは、かけがえのない地球環境を未来へ引き継ぐため、業務プロセスに環境への配慮を組み込むとともに、ステークホルダーとの積極的な対話と協働を通じて、環境問題の解決に積極的に取り組むことで、レジリエントで持続可能な社会づくりに貢献していきます。

1 社会のレジリエンスを高めるための商品・サービスの提供

自然災害リスクに備える商品・サービスを安定的に提供します。

また、気候変動の影響の軽減、低炭素社会の構築、生物多様性の保全、ステークホルダーの環境配慮行動の促進等に寄与する商品・サービスの開発・提供に努めます。

■これまで気候変動による被害の軽減などに寄与する適応策や再生可能エネルギーの普及促進に寄与するなどの地球環境問題の解決に資する保険商品・サービスを提供してまいりました。引き続き社会のレジリエンスを高める保険商品・サービスの提供に取り組んでいきます。

■1999年に国内金融機関で2番目に「エコファンド」を開発し、社会的責任投資の流れを先導してきました。引き続きESG(環境・社会・ガバナンス)に配慮した責任投資へ積極的に取り組むことにより、資金の流れを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2 バリューチェーンを含めた環境負荷の低減

事業活動に伴う環境への負荷を認識し、環境関連法規制等の遵守はもとより、さまざまなステークホルダーと連携・協働して、省資源、省エネルギー、資源循環に取り組むとともに、バリューチェーン全体での環境負荷の低減に努めます。

■これまでバリューチェーン全体の環境負荷低減につとめてまいりました。引き続き、グループのCO₂排出量を2020年までに2002年度比で40%の削減、2050年までに2002年度比で70%の削減を目指していきます。

■保険募集時の環境配慮型商品・サービスの提案、保険金支払時の自動車のリサイクル部品等の推進など自らの事業プロセスを通じて環境負荷の低減に取り組んでいきます。

3 環境問題に対する意識啓発、環境・地域貢献活動の推進

社会全体の環境問題に対する関心を高めるため、保険事業を中心にさまざまな事業を展開しているグループならではの知見を生かした環境関連情報を発信することで、環境保全の重要性を社会に広く伝えていくとともに、環境教育・啓発活動に努めます。

また、社員ひとりひとりが「よき家庭人、よき社会人」および「地球市民」として自発的に行う環境保全活動や地域貢献活動等を積極的に支援します。

■全国各地で市民向けの環境保全イベントを展開し、市民が環境保全活動に参加するきっかけをつくり、地域の自然環境への関心や生物多様性への理解の向上につながるよう取り組んでいきます。また、途上国での交通安全教育事業などを展開し、お客さまとともに国内外の社会的課題の解決に取り組んでいきます。

■1993年の開始からNPO / NGOと協働で開催している市民向けの環境公開講座を継続的に開催するとともに、環境NPO / NGOに大学生 / 大学院生を派遣する取組みなどを通じて、持続可能な社会へ向けて自ら考え行動するリーダーシップを備えた人材の育成に貢献していきます。

SOMPOホールディングスは、上記取組みの進捗状況を確認し、環境省へ報告するとともに、CSRコミュニケーションレポートなどで定期的に公表します。



保険の先へ、挑む。

SOMPO ホールディングス